

奥州市病院事業会計

第1 審査の対象

令和3年度奥州市病院事業会計決算

第2 審査の期間

令和4年6月1日から令和4年8月12日まで

第3 審査の方法

- 1 審査は、市長から審査に付された決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、貸借対照表、財務諸表附属書類等が諸規程に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかどうか検証するとともに、予算の執行又は事業の経営が予算議決の趣旨に沿い、かつ、関係法令等に従って適正、効率的に行われたかどうかを主眼として実施した。
- 2 審査に当たっては、決算及び附属書類のほか、提出を求めた資料、例月現金出納検査の資料、関係する台帳、帳簿及び証書類を基にして、必要に応じて関係職員の説明を求めながら実施した。

第4 審査の結果

決算諸表は、事業の経営成績及び財政状態ともに適正に表示されており、その内容は収支関係書類、元帳など会計簿冊その他の諸書類等にも合致して正確であると認められた。

また、予算は議会の議決の趣旨に沿い、的確に執行されており、運営は地方公営企業法の経営の基本原則にのっとり、適正になされていると認められた。

第5 業務の実績

1 経営成績

(1) 業務予定量（業務目標）と実績

当年度の病床数は 216床、入院患者数は 30,799人、外来患者数は 121,634人、資産購入費は 33,537,455円、施設整備費は 16,174,400円で、それぞれ予定量に対する執行状況は、91.9%、105.9%、103.9%、69.9%、53.6%であった。

(2) 経営収支の状況（事業収益と事業費用、事業利益）

当年度の経営収支は、消費税及び地方消費税抜きで事業収益 5,013,983,247円に対し事業費用 4,345,812,833円で、差引き 668,170,414円の純利益が生じた。

(3) 経営施設の整備状況

当年度は、機能訓練室、物理療法室エアコン設置工事（総合水沢病院）、冷温水発生機分解整備工事（まごころ病院）等の施設改修と、高速 PCR 検査装置（総合水沢病院）、心電図検査システム（前沢診療所）等の医療機器の整備更新を行い、新型コロナウイルス感染症に対する施設環境の整備、医療サービス提供機能の維持、強化を図っている。

なお、当年度の工事費等の総額は、49,711,855円（税込み）となっている。

2 財政状態

(1) 資産の状況

資産総額は 6,442,025,323円、負債総額は 1,398,424,620円、資本金は 6,844,033,169円、剰余金は △1,800,432,466円で、当年度未処理欠損金は 2,130,610,741円となっている。

(2) 経営の分析

経営分析のうち主なものは次のとおりであるが、具体的内容については参考付表7のとおりである。

ア 財務状態を示す主な指標は、次のとおりである。

(ア) 流動比率は、短期債務に対する支払能力を表しており、一般的に 200%以上が望ましいとされている。当年度の流動比率は 508.9%で、前年度に比較し 127.6ポイント上昇している。

(イ) 酸性試験比率（当座比率）は、当座の支払能力を示す流動負債に対する現金預金と未収金の割合を見るもので、100%以上が望ましいとされている。当年度の酸性試験比率は 504.2%で、前年度に比較し 127.1ポイント上昇している。

(ウ) 固定負債構成比率は、総資本（負債資本合計）に対する長期負債の割合で、低率なほど良いとされている。当年度の固定負債構成比率は 10.6%で、前年度に比較し 3.9ポイント低下している。

(エ) 自己資本構成比率は、総資本に対する自己資本の割合で、比率が大きいほど経営の安全性が大きいといえる。当年度の自己資本構成比率は 80.6%で、前年度に比較し 4.4ポイント上昇している。

(オ) 固定長期適合率（固定資産対長期資本比率）は、固定資産の調達が自己資本と固定負債を加えた長期資本の範囲で行われるべきという立場から、100%以下が望ましいとされている。当年度の固定長期適合率は 60.5%で、前年度に比較し 10.6ポイント低下している。

(カ) 現金預金比率は、流動負債に対する現金の割合であり、20%以上が望ましいとされている。当年度の現金預金比率は 377.1%で、前年度に比較し 100.2ポイント上昇している。

イ 収益性を示す主な指標は、次のとおりである。

(ア) 総収支比率は、総費用に対する総収益の割合を示すもので、この比率が 100%未満であるときは、事業の経営が赤字になっていることを示す。当年度の総収支比率は 115.4%で、前年度に比較し 25.0ポイント上昇している。

(イ) 修正医業収支比率は、医業費用に対する医業収益の割合を示すもので、この比率が高いほど医業利益率が良いことを表し、100%未満であることは医業損失が生じていることを意味する。当年度の修正医業収支比率は 57.4%で、前年度に比較し 2.6ポイント上昇している。

(ウ) 総資本利益率は、事業の経常的な収益力を総合的に表すもので、この比率が高いほど総合的な収益性が高いことになる。当年度の総資本利益率は 11.2%で、前年度に比較し

18.3ポイント上昇している。

(3) 未収金

現年度分の未収入額は 704,570,133円で、過年度分は 16,685,582円となり、当年度末における未収入額の合計は 721,255,715円となっている。

第6 審査意見

当年度の病院事業は、急性期医療から慢性期医療、在宅医療を提供し、地域の医療ニーズに応えるべく医療機能の充実に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症に対しては、重点医療機関として県から指定を受けた総合水沢病院をはじめ、医療局が一丸となって尽力した。

経営改善としては、総合水沢病院の重点医療機関指定による補助金や、診療報酬における加算取得、地域包括ケア病床の増床など収入の確保に努めるとともに、総合水沢病院及びまごころ病院の電力の調達方法を見直すなど、一層の経費節減に努めた。

事業収益は 5,013,983,247円、事業費用は 4,345,812,833円となり、668,170,414円の純利益を計上することができた。これに前年度の繰越欠損金 2,798,781,155円を加え、未処理欠損金を 2,130,610,741円に減じることができた。

事業収益については、新型コロナウイルス感染症の影響により入院収益及び外来収益が減少したものの、新型コロナウイルス感染症対応関連補助金の交付等により医業外収益及び医業収益が増加し、前年度に比較して 970,500,163円、24.0%増加した。これに対し事業費用は、材料費、経費、給与費等が減少したため、前年度に比較して 125,429,247円、2.8%減少した。この結果、黒字決算となったものである。

医師については、総合水沢病院では常勤医師が前年度から1名減、会計年度任用職員医師が1名増、衣川診療所では常勤医師が1名増となったが、未だ医師確保が滞っている。このような状況の中、医師養成奨学資金貸付制度による初の常勤医師が4月に着任した。また、貸付者は4月に新たに1名が増え、3年度末現在4名が対象となっており、引き続き本制度を活用した医師の養成に注力願いたい。

当年度は平成27年度以来、6年ぶりに純利益を計上することができた。しかし、その内訳は新型コロナウイルス感染症対応関連補助金等によるところが大きく、当該補助金等が交付されなくなった際には、再び純損失の発生が懸念される。経常収支比率は100%を上回ったものの、修正医業収支比率は100%未満と医業収益以外の収入である他会計繰入金等に依存している状況である。繰入金 1,560,119,000円のうち、基準内分（総務省が定める繰出基準による繰入金）が 1,425,393,000円と 91.4%を占めているとはいえ、残る基準外分については、公営企業の企業性を発揮し圧縮することが望まれる。

「奥州市立病院・診療所改革プラン（改訂版）」（平成28年3月策定）は令和2年度までの計画期間であり、新たなプランの策定が待たれたが、策定には至らなかった。また、奥州市立病院・診療

所改革プラン運営評価委員会が年度内に開催されず、点検及び評価を翌年度に反映させることができなかった。このような中、国からは令和4年3月に「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が示され、令和4年度又は5年度中に令和9年度までを標準的な期間とする「公立病院経営強化プラン（以下「強化プラン」という。）」の策定が求められている。策定にあたっては、次のような各種経営指標による他との比較等により、さらに質の高い計画を望むものである。

(単位：%)

年度 区分	令和2年度 奥州市	令和3年度 奥州市	令和2年度 全国市黒字団体平均
病床利用率	40.5	39.1	65.6
経常収支比率	90.5	115.7	105.9
修正医業収支比率	54.8	57.4	85.2
職員給与比率	99.9	96.8	59.0

また、病院事業経営改善に向けては、ヒト・モノ・カネ等の経営資源全体を把握し、資金繰り管理について啓発したり、市立医療機関がそれぞれ特長を發揮しながら、さらに連携を図る道筋を描くことなどが可能となる経営管理組織の見直しも併せて求められている。

なお、強化プラン策定までの間、計画がない状態のままでは、これまでのPDCAサイクルを中断することになりかねないことから、暫定的なものであれ作成のうえ、評価と改善を進めながら事業に取り組むことが望まれる。

先の見えない新型コロナウイルス感染症への対応を余儀なくされる中、職員の感染による診療休止等も起きたが、医療従事者及び多くの医療関係者の献身的な対応は、市民も承知しているところである。今後も突然の自然災害への対応も視野に入れ、市民の信頼に一層応えられるよう、病院経営に係る様々な課題を整理のうえ関係機関等との連携を図り、早期に強化プランを策定し、説明責任を適切に果たしながら、健康を守り支える拠点として、良質な医療の継続的提供に努められたい。

(1) 総合水沢病院

当年度の総合水沢病院は、前年度より常勤医師1名減の10名となり、3名の会計年度任用職員医師と合わせ13名体制で診療した。入院患者数は17,454人で前年度に比較して1,569人、8.2%減少し、外来患者数は58,501人（うち訪問看護利用者数は6,555人）で7,192人、14.0%増加した。

事業収益は3,371,633,477円であり、補助金、その他医業収益等が増加したため、前年度に比較して981,940,119円、41.1%増加した。

事業費用は2,598,475,539円であり、経費、材料費等が減少したため、前年度比109,486,207円、4.0%減少し、事業収益が事業費用を上回ったため、773,157,938円の純利益を計上することができた。

(2) まごころ病院

当年度の国民健康保険まごころ病院は、前年度同様8名の常勤医師体制で診療した。入院患者数は11,662人で前年度に比較して324人、2.9%増加し、外来患者数は41,452人（うち訪問看護利用者数は1,311人）で3,692人、8.2%減少した。

事業収益は994,483,909円であり、負担金交付金、入院収益等が増加したため、前年度に比較して2,627,886円、0.3%増加した。

事業費用は1,083,763,376円であり、過年度損益修正損、経費等が増加したため、前年度比2,053,388円、0.2%増加し、事業費用が事業収益を上回ったため89,279,467円の純損失を計上した。

(3) 前沢診療所

当年度の国民健康保険前沢診療所は、前年度同様1名の常勤医師体制で診療した。外来患者数は7,304人（訪問看護は令和3年3月31日をもって休止）で前年度に比較して740人、9.2%減少した。なお、入院については休床している。

事業収益は201,673,209円であり、訪問看護事業収益、負担金交付金等が減少したため、前年度に比較して7,213,325円、3.5%減少した。

事業費用は197,823,076円であり、訪問看護事業費用、給与費等が減少したため、前年度比24,036,526円、10.8%減少し、事業収益が事業費用を上回ったため、3,850,133円の純利益を計上した。

(4) 衣川診療所

当年度の国民健康保険衣川診療所は、前年度より常勤医師1名増の2名となり、会計年度任用職員医師と合わせ3名体制で診療した。入院患者数は1,683人で前年度に比較して104人、6.6%増加し、外来患者数は9,393人で1,083人、10.3%減少した。

事業収益は301,951,150円であり、外来収益、負担金交付金等が減少したため、前年度に比較して8,305,405円、2.7%減少した。

事業費用は317,160,798円であり、材料費、雑損失等が減少して、前年度比1,938,718円、0.6%減少し、事業費用が事業収益を上回ったため、15,209,648円の純損失を計上した。

(5) 衣川歯科診療所

当年度の国民健康保険衣川歯科診療所は、前年度同様1名の常勤医師体制で診療した。外来患者数は4,984人で前年度に比較して386人、7.2%減少した。

事業収益は83,679,755円であり、その他医業外収益、負担金交付金等が減少したため、前年度に比較して6,277,062円、7.0%減少した。

事業費用は88,028,297円であり、減価償却費、経費等が増加して、前年度比250,866円、0.3%増加し、事業費用が事業収益を上回ったため、4,348,542円の純損失を計上した。

第7 審査の概要

1 業務の実績

(1) 予算について

予算の状況は、次表のとおりである。

(税込) (単位：円)

区分		当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	合計
収益的収支	収入	4,145,389,000	547,754,000	0	4,693,143,000
	支出	4,680,016,000	△ 83,284,000	0	4,596,732,000
資本的収支	収入	165,314,000	5,070,000	0	170,384,000
	支出	245,135,000	13,165,000	0	258,300,000

(2) 業務予定量とその実績について

業務予定量に対する実績は、次表のとおりである。

区分	決算年度				前年度実績	比較増減	
	予定量	実績	比較	執行率			
病床数(床)	235	216	△ 19	91.9%	216	0	
入院	年延患者数(人)	29,077	30,799	1,722	105.9%	31,940	△ 1,141
	総合水沢病院	16,425	17,454	1,029	106.3%	19,023	△ 1,569
	まごころ病院	11,000	11,662	662	106.0%	11,338	324
	前沢診療所	(休床)				(休床)	-
	衣川診療所	1,652	1,683	31	101.9%	1,579	104
	一日平均患者数(人)	79.7	84.4	4.7	105.9%	87.5	△ 3.1
	総合水沢病院	45.0	47.8	2.8	106.2%	52.1	△ 4.3
	まごころ病院	30.1	32.0	1.9	106.3%	31.1	0.9
	前沢診療所	(休床)				(休床)	-
	衣川診療所	4.5	4.6	0.1	102.2%	4.3	0.3
	病床利用率(退院含む。)	-	39.1%	-	-	40.5%	△ 1.4
	(一般病床分)	-	(39.8%)	-	-	(41.3%)	(△ 1.5)
	総合水沢病院	-	32.1%	-	-	35.0%	△ 2.9
	(一般病床分)	-	(33.0%)	-	-	(35.9%)	(△ 2.9)
まごころ病院	-	66.6%	-	-	64.7%	1.9	
前沢診療所	(休床)				(休床)	-	
衣川診療所	-	24.3%	-	-	22.8%	1.5	
外来	年延患者数(人)	117,074	121,634	4,560	103.9%	120,343	1,291
	総合水沢病院	51,815	58,501	6,686	112.9%	51,309	7,192
	まごころ病院	40,565	41,452	887	102.2%	45,144	△ 3,692
	前沢診療所	8,400	7,304	△ 1,096	87.0%	8,044	△ 740
	衣川診療所	11,024	9,393	△ 1,631	85.2%	10,476	△ 1,083
	衣川歯科診療所	5,270	4,984	△ 286	94.6%	5,370	△ 386
	一日平均患者数(人)	485.8	504.7	18.9	103.9%	499.3	5.4
	総合水沢病院	215.0	242.7	27.7	112.9%	212.9	29.8
	まごころ病院	168.3	178.7	10.4	106.2%	187.3	△ 8.6
	前沢診療所	34.9	30.4	△ 4.5	87.1%	33.7	△ 3.3
衣川診療所	45.7	39.0	△ 6.7	85.3%	43.5	△ 4.5	
衣川歯科診療所	21.9	20.7	△ 1.2	94.5%	22.3	△ 1.6	
建設改良計画(円)	資産購入費	47,985,000	33,537,455	△ 14,447,545	69.9%	103,214,314	△ 69,676,859
	施設整備費	30,176,000	16,174,400	△ 14,001,600	53.6%	11,943,800	4,230,600

注1：診療日数は、入院 365日、外来 241日である。

注2：病床利用率＝年延入院患者数／年延病床数×100

注3：病床利用率における一般病床分は、感染病床分を除いたものである。

(3) 患者一人一日当たり収益、費用及び診療収入の状況について

患者一人一日当たり収益、費用及び診療収入の状況は、次表のとおりである。

(単位：円)

区分		年度	決算年度	前年度	比較増減	
					金額	比率
患者一人一日 当たり収益	医業収益（訪問看護事業含む。）		17,100	16,826	274	1.6%
	入院・外来延患者数					
患者一人一日 当たり費用	医業費用（訪問看護事業含む。）		27,461	28,260	△ 799	△ 2.8%
	入院・外来延患者数					
患者一人 一日当たり 診療収入	入院	入院収益	32,229	32,651	△ 422	△ 1.3%
		入院延患者数				
	外来	外来収益	9,425	9,694	△ 269	△ 2.8%
		外来延患者数				
	平均	入院・外来収益	14,032	14,509	△ 477	△ 3.3%
		入院・外来延患者数				

(4) 職員数について

ア 職種別職員数

(単位：人)

区分 職種	決算年度末			前年度末			比較増減		
	本採用	会計年度	計	本採用	会計年度	計	本採用	会計年度	計
管理者	1	0	1	1	0	1	0	0	0
医師	22	4	26	22	3	25	0	1	1
看護師	125	22	147	131	20	151	△ 6	2	△ 4
准看護師	0	6	6	0	4	4	0	2	2
医療技術員	57	8	65	56	6	62	1	2	3
事務職員	22	21	43	21	19	40	1	2	3
その他の職員	6	41	47	6.5	41	47.5	△ 0.5	0	△ 0.5
計	233	102	335	237.5	93	330.5	△ 4.5	9	4.5

イ 職員一人一日当たりの患者数

(単位：人)

区分 職種	決算年度			前年度			比較増減		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
医師	3.3	13.1	16.4	3.5	13.3	16.8	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4
看護職員	0.5	2.2	2.7	0.6	2.1	2.7	△ 0.1	0.1	0.0
事務職員	2.0	8.1	10.1	2.2	8.2	10.4	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.3
その他の職員	0.8	3.1	3.9	0.8	3.1	3.9	0.0	0.0	0.0
全職員	0.3	1.0	1.3	0.3	1.0	1.3	0.0	0.0	0.0

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出について

ア 収益的収入について

当年度の事業収益は、予算額 4,693,143,000円に対し決算額 5,041,079,434円で、執行率 107.4%である。決算額を前年度に比較すると 981,157,330円、24.2%増加している。

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(税込) (単位：円)

科目	区分	決算年度				前年度決算額	比較増減	
		予算額	決算額	収入増減額	執行率		金額	比率
第1款	病院事業収益	4,693,143,000	5,041,079,434	347,936,434	107.4%	4,059,922,104	981,157,330	24.2%
	総合水沢病院	3,037,010,000	3,391,551,598	354,541,598	111.7%	2,399,063,329	992,488,269	41.4%
	まごころ病院	988,598,000	998,554,450	9,956,450	101.0%	996,102,916	2,451,534	0.2%
	前次診療所	196,203,000	202,422,896	6,219,896	103.2%	209,447,042	△ 7,024,146	△ 3.4%
	衣川診療所	319,017,000	303,984,431	△ 15,032,569	95.3%	311,753,750	△ 7,263,250	△ 2.3%
	衣川歯科診療所	88,275,000	83,956,813	△ 4,318,187	95.1%	90,543,313	△ 6,586,500	△ 7.3%
	経営管理部	64,040,000	60,609,246	△ 3,430,754	94.6%	53,011,754	7,597,492	14.3%
第1項	医業収益	2,449,295,000	2,567,252,121	117,957,121	104.8%	2,510,779,298	56,472,823	2.2%
	総合水沢病院	1,422,774,000	1,535,415,453	112,641,453	107.9%	1,471,858,623	63,556,830	4.3%
	まごころ病院	725,230,000	742,062,570	16,832,570	102.3%	754,229,106	△ 12,166,536	△ 1.6%
	前次診療所	67,832,000	73,356,386	5,524,386	108.1%	67,429,882	5,926,504	8.8%
	衣川診療所	173,171,000	159,691,683	△ 13,479,317	92.2%	160,215,854	△ 524,171	△ 0.3%
	衣川歯科診療所	55,180,000	53,412,347	△ 1,767,653	96.8%	53,761,679	△ 349,332	△ 0.6%
	経営管理部	5,108,000	3,313,682	△ 1,794,318	64.9%	3,284,154	29,528	0.9%
第2項	医業外収益	2,171,347,000	2,408,061,817	236,714,817	110.9%	1,480,650,952	927,410,865	62.6%
	総合水沢病院	1,552,275,000	1,798,637,316	246,362,316	115.9%	880,548,527	918,088,789	104.3%
	まごころ病院	252,834,000	248,363,837	△ 4,470,163	98.2%	231,341,087	17,022,750	7.4%
	前次診療所	128,369,000	128,934,968	565,968	100.4%	130,728,983	△ 1,794,015	△ 1.4%
	衣川診療所	145,844,000	144,292,748	△ 1,551,252	98.9%	151,537,896	△ 7,245,148	△ 4.8%
	衣川歯科診療所	33,093,000	30,540,848	△ 2,552,152	92.3%	36,766,859	△ 6,226,011	△ 16.9%
	経営管理部	58,932,000	57,292,100	△ 1,639,900	97.2%	49,727,600	7,564,500	15.2%
第3項	訪問看護事業収益	71,943,000	65,560,830	△ 6,382,170	91.1%	66,335,136	△ 774,306	△ 1.2%
	総合水沢病院	61,421,000	57,495,969	△ 3,925,031	93.6%	46,069,612	11,426,357	24.8%
	まごころ病院	10,522,000	8,064,861	△ 2,457,139	76.6%	9,899,646	△ 1,834,785	△ 18.5%
	前次診療所	0	0	0	-	10,365,878	△ 10,365,878	皆減
	衣川診療所	0	0	0	-	0	0	-
	衣川歯科診療所	0	0	0	-	0	0	-
	経営管理部	0	0	0	-	0	0	-
第4項	訪問看護事業外収益	49,000	13,391	△ 35,609	27.3%	725,068	△ 711,677	△ 98.2%
	総合水沢病院	40,000	2,860	△ 37,140	7.2%	0	2,860	皆増
	まごころ病院	9,000	10,531	1,531	117.0%	10,725	△ 194	△ 1.8%
	前次診療所	0	0	0	-	714,343	△ 714,343	皆減
	衣川診療所	0	0	0	-	0	0	-
	衣川歯科診療所	0	0	0	-	0	0	-
	経営管理部	0	0	0	-	0	0	-
第5項	特別利益	509,000	191,275	△ 317,725	37.6%	1,431,650	△ 1,240,375	△ 86.6%
	総合水沢病院	500,000	0	△ 500,000	0.0%	586,567	△ 586,567	皆減
	まごころ病院	3,000	52,651	49,651	1,755.0%	622,352	△ 569,701	△ 91.5%
	前次診療所	2,000	131,542	129,542	6,577.1%	207,956	△ 76,414	△ 36.7%
	衣川診療所	2,000	0	△ 2,000	0.0%	0	0	-
	衣川歯科診療所	2,000	3,618	1,618	180.9%	14,775	△ 11,157	△ 75.5%
	経営管理部	0	3,464	3,464	-	0	3,464	皆増

イ 収益的支出について

当年度の事業費用は、予算額 4,596,732,000円に対し決算額 4,368,401,215円で、執行率 95.0%である。決算額を前年度に比較すると 108,847,330円、2.4%減少している。

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(税込) (単位：円)

科目	区分	決算年度				前年度決算額	比較増減	
		予算額	決算額	不用額	執行率		金額	比率
第1款	病院事業費用	4,596,732,000	4,368,401,215	228,330,785	95.0%	4,477,248,545	△ 108,847,330	△ 2.4%
	総合水沢病院	2,783,631,000	2,616,670,095	166,960,905	94.0%	2,710,382,662	△ 93,712,567	△ 3.5%
	まごころ病院	1,118,122,000	1,086,446,507	31,675,493	97.2%	1,084,642,081	1,804,426	0.2%
	前沢診療所	201,722,000	197,736,063	3,985,937	98.0%	221,805,110	△ 24,069,047	△ 10.9%
	衣川診療所	334,043,000	318,822,529	15,220,471	95.4%	320,020,811	△ 1,198,282	△ 0.4%
	衣川歯科診療所	95,174,000	88,116,775	7,057,225	92.6%	87,386,127	730,648	0.8%
	経営管理部	64,040,000	60,609,246	3,430,754	94.6%	53,011,754	7,597,492	14.3%
第1項	医業費用	4,461,616,000	4,239,347,584	222,268,416	95.0%	4,349,625,957	△ 110,278,373	△ 2.5%
	総合水沢病院	2,691,749,000	2,538,645,205	153,103,795	94.3%	2,643,653,451	△ 105,008,246	△ 4.0%
	まごころ病院	1,089,727,000	1,049,073,078	40,653,922	96.3%	1,057,819,380	△ 8,746,302	△ 0.8%
	前沢診療所	192,624,000	189,071,401	3,552,599	98.2%	193,462,147	△ 4,390,746	△ 2.3%
	衣川診療所	329,677,000	314,801,210	14,875,790	95.5%	315,652,715	△ 851,505	△ 0.3%
	衣川歯科診療所	93,999,000	87,194,444	6,804,556	92.8%	86,176,510	1,017,934	1.2%
	経営管理部	63,840,000	60,562,246	3,277,754	94.9%	52,861,754	7,700,492	14.6%
第2項	医業外費用	39,109,000	39,108,895	105	100.0%	35,164,744	3,944,151	11.2%
	総合水沢病院	13,843,000	13,427,441	415,559	97.0%	6,198,387	7,229,054	116.6%
	まごころ病院	12,101,000	12,637,224	△ 536,224	104.4%	14,326,371	△ 1,689,147	△ 11.8%
	前沢診療所	8,297,000	8,364,396	△ 67,396	100.8%	9,282,177	△ 917,781	△ 9.9%
	衣川診療所	3,715,000	3,742,686	△ 27,686	100.7%	4,020,164	△ 277,478	△ 6.9%
	衣川歯科診療所	953,000	890,148	62,852	93.4%	1,187,645	△ 297,497	△ 25.0%
	経営管理部	200,000	47,000	153,000	23.5%	150,000	△ 103,000	△ 68.7%
第3項	訪問看護事業費用	91,269,000	77,463,973	13,805,027	84.9%	88,682,169	△ 11,218,196	△ 12.6%
	総合水沢病院	75,938,000	63,245,789	12,692,211	83.3%	58,041,345	5,204,444	9.0%
	まごころ病院	15,331,000	14,218,184	1,112,816	92.7%	12,024,078	2,194,106	18.2%
	前沢診療所	0	0	0	-	18,616,746	△ 18,616,746	皆減
	衣川診療所	0	0	0	-	0	0	-
	衣川歯科診療所	0	0	0	-	0	0	-
	経営管理部	0	0	0	-	0	0	-
第4項	特別損失	2,638,000	12,480,763	△ 9,842,763	473.1%	3,775,675	8,705,088	230.6%
	総合水沢病院	1,301,000	1,351,660	△ 50,660	103.9%	2,489,479	△ 1,137,819	△ 45.7%
	まごころ病院	863,000	10,518,021	△ 9,655,021	1218.8%	472,252	10,045,769	2,127.2%
	前沢診療所	301,000	300,266	734	99.8%	444,040	△ 143,774	△ 32.4%
	衣川診療所	151,000	278,633	△ 127,633	184.5%	347,932	△ 69,299	△ 19.9%
	衣川歯科診療所	22,000	32,183	△ 10,183	146.3%	21,972	10,211	46.5%
	経営管理部	0	0	0	-	0	0	-
第5項	予備費	2,100,000	0	2,100,000	0.0%	0	0	-
	総合水沢病院	800,000	0	800,000	0.0%	0	0	-
	まごころ病院	100,000	0	100,000	0.0%	0	0	-
	前沢診療所	500,000	0	500,000	0.0%	0	0	-
	衣川診療所	500,000	0	500,000	0.0%	0	0	-
	衣川歯科診療所	200,000	0	200,000	0.0%	0	0	-
	経営管理部	0	0	0	-	0	0	-

(2) 資本的収入及び支出について

当年度の資本的収入の決算額は、157,132,000円で、資本的支出の決算額は、229,850,140円である。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 72,718,140円は、過年度分損益勘定留保資金で補填されている。

ア 資本的収入について

当年度の資本的収入は、予算額 170,384,000円に対し決算額 157,132,000円で、執行率 92.2%である。決算額を前年度に比較すると 39,656,000円、20.2%減少している。

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(税込) (単位：円)

科目	区分	決算年度				前年度決算額	比較増減	
		予算額	決算額	収入増減額	執行率		金額	比率
第1款	資本的収入	170,384,000	157,132,000	△ 13,252,000	92.2%	196,788,000	△ 39,656,000	△ 20.2%
	総合水沢病院	23,594,000	15,616,000	△ 7,978,000	66.2%	74,008,000	△ 58,392,000	△ 78.9%
	まごころ病院	49,385,000	48,913,000	△ 472,000	99.0%	47,752,000	1,161,000	2.4%
	前沢診療所	41,764,000	41,764,000	0	100.0%	39,238,000	2,526,000	6.4%
	衣川診療所	18,880,000	16,373,000	△ 2,507,000	86.7%	15,062,000	1,311,000	8.7%
	衣川歯科診療所	7,961,000	5,666,000	△ 2,295,000	71.2%	9,928,000	△ 4,262,000	△ 42.9%
	経営管理部	28,800,000	28,800,000	0	100.0%	10,800,000	18,000,000	166.7%
第1項	企業債	3,800,000	1,600,000	△ 2,200,000	42.1%	5,300,000	△ 3,700,000	△ 69.8%
	総合水沢病院	0	0	0	-	0	0	-
	まごころ病院	0	0	0	-	0	0	-
	前沢診療所	0	0	0	-	0	0	-
	衣川診療所	2,300,000	1,600,000	△ 700,000	69.6%	0	1,600,000	皆増
	衣川歯科診療所	1,500,000	0	△ 1,500,000	0.0%	5,300,000	△ 5,300,000	皆減
	経営管理部	0	0	0	-	0	0	-
第2項	出資金	161,432,000	153,020,000	△ 8,412,000	94.8%	166,850,000	△ 13,830,000	△ 8.3%
	総合水沢病院	23,592,000	15,616,000	△ 7,976,000	66.2%	50,543,000	△ 34,927,000	△ 69.1%
	まごころ病院	48,179,000	47,747,000	△ 432,000	99.1%	46,579,000	1,168,000	2.5%
	前沢診療所	41,764,000	41,764,000	0	100.0%	39,238,000	2,526,000	6.4%
	衣川診療所	14,224,000	14,224,000	0	100.0%	15,062,000	△ 838,000	△ 5.6%
	衣川歯科診療所	4,873,000	4,869,000	△ 4,000	99.9%	4,628,000	241,000	5.2%
	経営管理部	28,800,000	28,800,000	0	100.0%	10,800,000	18,000,000	166.7%
第3項	固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0.0%	0	0	-
	総合水沢病院	1,000	0	△ 1,000	0.0%	0	0	-
	まごころ病院	0	0	0	-	0	0	-
	前沢診療所	0	0	0	-	0	0	-
	衣川診療所	0	0	0	-	0	0	-
	衣川歯科診療所	0	0	0	-	0	0	-
	経営管理部	0	0	0	-	0	0	-
第4項	補助金	5,151,000	2,512,000	△ 2,639,000	48.8%	24,638,000	△ 22,126,000	△ 89.8%
	総合水沢病院	1,000	0	△ 1,000	0.0%	23,465,000	△ 23,465,000	皆減
	まごころ病院	1,206,000	1,166,000	△ 40,000	96.7%	1,173,000	△ 7,000	△ 0.6%
	前沢診療所	0	0	0	-	0	0	-
	衣川診療所	2,356,000	549,000	△ 1,807,000	23.3%	0	549,000	皆増
	衣川歯科診療所	1,588,000	797,000	△ 791,000	50.2%	0	797,000	皆増
	経営管理部	0	0	0	-	0	0	-

イ 資本的支出について

当年度の資本的支出は、予算額 258,300,000円に対し決算額 229,850,140円で、執行率 89.0%である。決算額を前年度に比較すると 44,285,430円、16.2%減少している。

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(税込) (単位：円)

科目	区分	決算年度					前年度決算額	比較増減	
		予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率		金額	比率
第1款 資本的支出		258,300,000	229,850,140	0	28,449,860	89.0%	274,135,570	△ 44,285,430	△ 16.2%
	総合水沢病院	49,182,000	26,447,894	0	22,734,106	53.8%	83,591,847	△ 57,143,953	△ 68.4%
	まごころ病院	78,954,000	76,534,449	0	2,419,551	96.9%	74,003,352	2,531,097	3.4%
	前沢診療所	64,574,000	64,573,676	0	324	100.0%	61,006,095	3,567,581	5.8%
	衣川診療所	26,791,000	25,097,805	0	1,693,195	93.7%	28,021,687	△ 2,923,882	△ 10.4%
	衣川歯科診療所	9,999,000	8,396,316	0	1,602,684	84.0%	16,712,589	△ 8,316,273	△ 49.8%
	経営管理部	28,800,000	28,800,000	0	0	100.0%	10,800,000	18,000,000	166.7%
第1項 建設改良費		78,161,000	49,711,855	0	28,449,145	63.6%	115,158,114	△ 65,446,259	△ 56.8%
	総合水沢病院	41,693,000	18,959,215	0	22,733,785	45.5%	76,439,614	△ 57,480,399	△ 75.2%
	まごころ病院	17,681,000	15,261,510	0	2,419,490	86.3%	14,612,800	648,710	4.4%
	前沢診療所	9,204,000	9,203,700	0	300	100.0%	6,765,000	2,438,700	36.0%
	衣川診療所	5,906,000	4,213,050	0	1,692,950	71.3%	6,584,900	△ 2,371,850	△ 36.0%
	衣川歯科診療所	3,677,000	2,074,380	0	1,602,620	56.4%	10,755,800	△ 8,681,420	△ 80.7%
	経営管理部	0	0	0	0	-	0	0	-
第2項 企業償還金		151,339,000	151,338,285	0	715	100.0%	148,177,456	3,160,829	2.1%
	総合水沢病院	7,489,000	7,488,679	0	321	100.0%	7,152,233	336,446	4.7%
	まごころ病院	61,273,000	61,272,939	0	61	100.0%	59,390,552	1,882,387	3.2%
	前沢診療所	55,370,000	55,369,976	0	24	100.0%	54,241,095	1,128,881	2.1%
	衣川診療所	20,885,000	20,884,755	0	245	100.0%	21,436,787	△ 552,032	△ 2.6%
	衣川歯科診療所	6,322,000	6,321,936	0	64	100.0%	5,956,789	365,147	6.1%
	経営管理部	0	0	0	0	-	0	0	-
第3項 投資		28,800,000	28,800,000	0	0	100.0%	10,800,000	18,000,000	166.7%
	総合水沢病院	0	0	0	0	-	0	0	-
	まごころ病院	0	0	0	0	-	0	0	-
	前沢診療所	0	0	0	0	-	0	0	-
	衣川診療所	0	0	0	0	-	0	0	-
	衣川歯科診療所	0	0	0	0	-	0	0	-
	経営管理部	28,800,000	28,800,000	0	0	100.0%	10,800,000	18,000,000	166.7%

(3) 予算に定められた限度条項等について

ア 企業債	限度額	3,800,000円
	決算額	1,600,000円
イ 一時借入金	限度額	400,000,000円
	借入残高最高額	0円
ウ 流用禁止項目		
(ア) 職員給与費	予算額	2,634,421,000円
	決算額	2,525,016,955円
(イ) 交際費	予算額	882,000円
	決算額	140,191円
エ たな卸資産の購入	限度額	522,874,000円
	決算額	485,215,080円
オ 債務負担行為		

事項	期間	限度額 (円)	支払義務発生 予定額 (円)
医師養成奨学資金貸付事業	令和4年度から 令和9年度まで	入学一時金1,080万円、入学準備金560万円及び月額貸付金30万円を限度として、医師養成奨学資金貸付条例で定める額	入学一時金1,080万及び月額貸付金30万円
総合水沢病院及びまごころ病院電力供給業務	令和4年度	63,300,000	63,300,000

3 経営の状況

(1) 収益的収入及び支出について

当年度の事業収益は、5,013,983,247円で、事業費用は、4,345,812,833円である。

この結果、純利益は668,170,414円で、これに前年度繰越欠損金2,798,781,155円を加えた2,130,610,741円が当年度未処理欠損金となり、全額を翌年度繰越欠損金としている。

ア 収益的収入について

事業収益は、前年度に比較して970,500,163円、24.0%増加している。事業収益の50.7%を占める医業収益は2,541,028,129円で、前年度に比較して45,051,377円、1.8%増加している。事業収益の48.0%を占める医業外収益は2,407,190,196円で、前年度に比較して928,175,173円、62.8%増加している。事業収益の1.3%を占める訪問看護事業収益は65,560,830円で、前年度に比較して774,306円、1.2%減少している。

決算額及び構成比率は、次表のとおりである。

(税抜) (単位：円)

科目	決算年度		前年度		比較増減	
	決算額	構成比率	決算額	構成比率	金額	比率
1 医業収益	2,541,028,129	50.7%	2,495,976,752	61.8%	45,051,377	1.8%
(1) 入院収益	992,624,899	19.8%	1,042,858,473	25.8%	△ 50,233,574	△ 4.8%
(2) 外来収益	1,080,815,051	21.5%	1,100,296,450	27.2%	△ 19,481,399	△ 1.8%
(3) その他医業収益	464,274,497	9.3%	349,537,675	8.7%	114,736,822	32.8%
(4) 本部費配賦額	3,313,682	0.1%	3,284,154	0.1%	29,528	0.9%
2 医業外収益	2,407,190,196	48.0%	1,479,015,023	36.6%	928,175,173	62.8%
(1) 受取利息及び配当金	111,693	0.0%	638,246	0.0%	△ 526,553	△ 82.5%
(2) 補助金	1,161,242,170	23.2%	235,402,000	5.8%	925,840,170	393.3%
(3) 負担金交付金	1,202,613,000	24.0%	1,202,649,000	29.8%	△ 36,000	△ 0.0%
(4) 患者外給食収益	318,390	0.0%	337,294	0.0%	△ 18,904	△ 5.6%
(5) 長期前受金戻入	20,833,646	0.4%	17,082,414	0.4%	3,751,232	22.0%
(6) その他医業外収益	22,071,297	0.4%	22,906,069	0.6%	△ 834,772	△ 3.6%
3 訪問看護事業収益	65,560,830	1.3%	66,335,136	1.6%	△ 774,306	△ 1.2%
(1) 外来収益	65,560,830	1.3%	66,335,136	1.6%	△ 774,306	△ 1.2%
4 訪問看護事業外収益	13,131	0.0%	724,523	0.0%	△ 711,392	△ 98.2%
(1) 補助金	0	0.0%	700,000	0.0%	△ 700,000	皆減
(2) その他医業外収益	13,131	0.0%	24,523	0.0%	△ 11,392	△ 46.5%
5 特別利益	190,961	0.0%	1,431,650	0.0%	△ 1,240,689	△ 86.7%
(1) 固定資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(2) 過年度損益修正益	190,961	0.0%	1,431,650	0.0%	△ 1,240,689	△ 86.7%
(3) その他特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
事業収益計	5,013,983,247	100.0%	4,043,483,084	100.0%	970,500,163	24.0%

イ 収益的支出について

事業費用は、前年度に比較して 125,429,247円、2.8%減少している。事業費用の 94.5%を占める医業費用は 4,108,975,930円で、前年度に比較して 106,220,969円、2.5%減少している。事業費用の 3.4%を占める医業外費用は 147,314,653円で、前年度に比較して 16,688,265円、10.2%減少している。事業費用の 1.8%を占める訪問看護事業費用は 77,041,487円で、前年度に比較して 11,225,101円、12.7%減少している。

決算額及び構成比率は、次表のとおりである。

(税抜) (単位：円)

科目	決算年度		前年度		比較増減	
	決算額	構成比率	決算額	構成比率	金額	比率
1 医業費用	4,108,975,930	94.5%	4,215,196,899	94.3%	△ 106,220,969	△ 2.5%
(1) 給与費	2,451,201,656	56.4%	2,477,014,405	55.4%	△ 25,812,749	△ 1.0%
(2) 材料費	399,174,616	9.2%	435,368,236	9.7%	△ 36,193,620	△ 8.3%
(3) 経費	1,014,358,959	23.3%	1,044,142,547	23.4%	△ 29,783,588	△ 2.9%
(4) 減価償却費	228,454,167	5.3%	234,719,798	5.2%	△ 6,265,631	△ 2.7%
(5) 資産減耗費	5,849,302	0.1%	13,366,277	0.3%	△ 7,516,975	△ 56.2%
(6) 研究研修費	6,623,548	0.1%	7,301,482	0.2%	△ 677,934	△ 9.3%
(7) 本部費配賦額	3,313,682	0.1%	3,284,154	0.1%	29,528	0.9%
2 医業外費用	147,314,653	3.4%	164,002,918	3.6%	△ 16,688,265	△ 10.2%
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	22,861,116	0.5%	26,621,905	0.6%	△ 3,760,789	△ 14.1%
(2) 患者外給食材料費	1,890	0.0%	490	0.0%	1,400	285.7%
(3) 雑損失	124,451,647	2.9%	137,380,523	3.0%	△ 12,928,876	△ 9.4%
3 訪問看護事業費用	77,041,487	1.8%	88,266,588	2.0%	△ 11,225,101	△ 12.7%
(1) 給与費	72,583,292	1.7%	83,941,411	1.9%	△ 11,358,119	△ 13.5%
(2) 材料費	0	0.0%	28,580	0.0%	△ 28,580	皆減
(3) 経費	4,414,375	0.1%	4,199,184	0.1%	215,191	5.1%
(4) 減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(5) 研究研修費	43,820	0.0%	97,413	0.0%	△ 53,593	△ 55.0%
4 訪問看護事業外費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
5 特別損失	12,480,763	0.3%	3,775,675	0.1%	8,705,088	230.6%
(1) 固定資産売却損	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(2) 過年度損益修正損	11,711,563	0.3%	2,425,529	0.1%	9,286,034	382.8%
(3) その他特別損失	769,200	0.0%	1,350,146	0.0%	△ 580,946	△ 43.0%
事業費用計	4,345,812,833	100.0%	4,471,242,080	100.0%	△ 125,429,247	△ 2.8%

(2) 資本的収入及び支出について

当年度の資本的収入は、157,132,000円で、資本的支出は、225,342,335円である。

ア 資本的収入について

資本的収入は、補助金、出資金等の減により前年度に比較して 39,656,000円、20.2%減少している。

決算額及び構成比率は、次表のとおりである。

(税抜) (単位：円)

科目	決算年度		前年度		比較増減	
	決算額	構成比率	決算額	構成比率	金額	比率
1 資本的収入	157,132,000	100.0%	196,788,000	100.0%	△ 39,656,000	△ 20.2%
(1) 企業債	1,600,000	1.0%	5,300,000	2.7%	△ 3,700,000	△ 69.8%
(2) 出資金	153,020,000	97.4%	166,850,000	84.8%	△ 13,830,000	△ 8.3%
(3) 固定資産売却代金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
(4) 補助金	2,512,000	1.6%	24,638,000	12.5%	△ 22,126,000	△ 89.8%

イ 資本的支出について

資本的支出は、前年度に比較して 38,360,680円、14.5%減少している。

建設改良費は 45,204,050円で、その内訳は医療器械等購入費及び施設整備費である。

企業債償還金は 151,338,285円で、当年度末の企業債未償還残高は 835,086,825円となり、前年度末残高に比較して 149,738,285円減少している。

投資は 28,800,000円で、医師養成奨学資金貸付金である。

決算額及び構成比率は、次表のとおりである。

(税抜) (単位：円)

科目	決算年度		前年度		比較増減	
	決算額	構成比率	決算額	構成比率	金額	比率
1 資本的支出	225,342,335	100.0%	263,703,015	100.0%	△ 38,360,680	△ 14.5%
(1) 建設改良費	45,204,050	20.1%	104,725,559	39.7%	△ 59,521,509	△ 56.8%
(2) 企業債償還金	151,338,285	67.1%	148,177,456	56.2%	3,160,829	2.1%
(3) 投資	28,800,000	12.8%	10,800,000	4.1%	18,000,000	166.7%

4 財政の状況

(1) 資産並びに負債及び資本について

固定資産は 3,553,912,363円、資産の 55.2%を占めており、前年度に比較して 159,715,014円、4.3%減少している。流動資産は 2,888,112,960円で、資産の 44.8%を占めており、前年度に比較して 839,833,338円、41.0%増加している。

負債は 1,398,424,620円で、負債資本の 21.7%を占めており、前年度に比較して 141,072,090円、9.2%減少している。資本金は 6,844,033,169円で、負債資本の 106.2%を占めており、前年度に比較して 153,020,000円、2.3%増加している。剰余金は △1,800,432,466円で、負債資本の △27.9%を占めており、前年度に比較して 668,170,414円、27.1%増加している。

資産並びに負債及び資本の決算額と構成比率は、次表のとおりである。

(税抜) (単位：円)

科目	年度	決算年度		前年度		比較増減	
		決算額	構成比率	決算額	構成比率	金額	比率
資産	固定資産	3,553,912,363	55.2%	3,713,627,377	64.5%	△ 159,715,014	△ 4.3%
	有形固定資産	3,498,809,889	54.3%	3,687,324,903	64.0%	△ 188,515,014	△ 5.1%
	無形固定資産	1,102,474	0.0%	1,102,474	0.0%	0	0.0%
	投資	54,000,000	0.9%	25,200,000	0.5%	28,800,000	114.3%
	流動資産	2,888,112,960	44.8%	2,048,279,622	35.5%	839,833,338	41.0%
	資産合計	6,442,025,323	100.0%	5,761,906,999	100.0%	680,118,324	11.8%
負債資本	負債	1,398,424,620	21.7%	1,539,496,710	26.7%	△ 141,072,090	△ 9.2%
	固定負債	680,502,570	10.6%	833,486,825	14.5%	△ 152,984,255	△ 18.4%
	流動負債	567,479,099	8.8%	537,245,288	9.3%	30,233,811	5.6%
	繰延収益	150,442,951	2.3%	168,764,597	2.9%	△ 18,321,646	△ 10.9%
	資本金	6,844,033,169	106.2%	6,691,013,169	116.1%	153,020,000	2.3%
	剰余金	△ 1,800,432,466	△ 27.9%	△ 2,468,602,880	△ 42.8%	668,170,414	27.1%
	資本剰余金	202,500,445	3.1%	202,500,445	3.5%	0	0.0%
	利益剰余金	△ 2,002,932,911	△ 31.0%	△ 2,671,103,325	△ 46.3%	668,170,414	25.0%
	負債資本合計	6,442,025,323	100.0%	5,761,906,999	100.0%	680,118,324	11.8%

(2) 診療収入等の収入状況について

現年度分及び過年度分の収入状況は、次表のとおりである。

ア 現年度分

(税込) (単位：円)

科目		区分	調定額	収入済額	未収入額	収入率
収益的収入	1	医業収益	2,567,252,121	2,174,107,185	393,144,936	84.7%
	(1)	入院収益	992,668,197	834,140,145	158,528,052	84.0%
		保険者負担	909,364,832	754,866,167	154,498,665	83.0%
		個人負担	83,303,365	79,273,978	4,029,387	95.2%
	(2)	外来収益	1,081,056,274	917,754,939	163,301,335	84.9%
		保険者負担	925,607,032	765,989,429	159,617,603	82.8%
		個人負担	155,449,242	151,765,510	3,683,732	97.6%
	(3)	その他医業収益	490,213,968	422,212,101	68,001,867	86.1%
		室料差額収益	8,833,440	8,536,440	297,000	96.6%
		公衆衛生活動収益	163,550,486	147,873,643	15,676,843	90.4%
		医療相談収益	2,789,635	2,659,615	130,020	95.3%
		受託検査施設利用収益	7,419,425	7,312,913	106,512	98.6%
		その他医業収益	307,620,982	255,829,490	51,791,492	83.2%
	(4)	本部費配賦額	3,313,682	0	3,313,682	0.0%
	2	医業外収益	2,408,061,817	2,108,702,094	299,359,723	87.6%
	3	訪問看護事業収益	65,560,830	54,665,356	10,895,474	83.4%
	(1)	外来収益	65,560,830	54,665,356	10,895,474	83.4%
		保険者負担	56,972,867	47,029,226	9,943,641	82.5%
		個人負担	8,587,963	7,636,130	951,833	88.9%
	4	訪問看護事業外収益	13,391	13,391	0	100.0%
5	特別利益	191,275	191,275	0	100.0%	
	計	5,041,079,434	4,337,679,301	703,400,133	86.0%	
資本的収入			157,132,000	155,962,000	1,170,000	99.3%
合計			5,198,211,434	4,493,641,301	704,570,133	86.4%

イ 過年度分

(税込) (単位：円)

区分	前年度未収入額	修正額	収入済額	不納欠損額	未収入額	収入率
収益的収入	512,757,774	△ 12,259,757	483,189,550	622,885	16,685,582	96.5%
資本的収入	26,204,000	0	26,204,000	0	0	100.0%
合計	538,961,774	△ 12,259,757	509,393,550	622,885	16,685,582	96.7%

前年度末における未収入額は 538,961,774円であり、収入済額は 509,393,550円で、収入率は 96.7%となっている。その結果、当年度末における繰越未収入額は 16,685,582円となっている。

施設別の過年度未収金の内訳は、次表のとおりである。

(税込) (単位：件・円)

施設 年度	水沢病院		まごころ病院		前沢診療所		衣川診療所		衣川歯科診療所		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成 8	1	225,563	5	70,054	0	0	0	0	0	0	6	295,617
9	2	32,815	1	1,790	0	0	0	0	0	0	3	34,605
10	6	404,445	13	77,020	0	0	0	0	0	0	19	481,465
11	16	722,360	12	37,930	0	0	0	0	0	0	28	760,290
12	22	1,806,967	4	10,190	0	0	0	0	0	0	26	1,817,157
13	21	1,323,442	25	175,280	0	0	0	0	0	0	46	1,498,722
14	26	1,530,172	30	136,680	0	0	0	0	0	0	56	1,666,852
15	15	590,728	14	43,650	0	0	0	0	0	0	29	634,378
16	14	449,206	18	38,456	0	0	0	0	0	0	32	487,662
17	12	452,401	42	405,011	0	0	0	0	0	0	54	857,412
18	14	915,126	13	190,320	0	0	0	0	0	0	27	1,105,446
19	5	166,168	27	43,890	1	240,545	0	0	0	0	33	450,603
20	8	162,494	36	90,600	0	0	0	0	0	0	44	253,094
21	3	103,070	33	66,970	0	0	0	0	0	0	36	170,040
22	4	112,490	25	21,850	0	0	0	0	0	0	29	134,340
23	6	295,811	19	16,870	0	0	0	0	0	0	25	312,681
24	1	9,277	32	147,945	0	0	0	0	0	0	33	157,222
25	4	254,664	24	328,776	0	0	0	0	0	0	28	583,440
26	1	8,120	11	5,533	0	0	0	0	0	0	12	13,653
27	7	307,707	24	83,084	0	0	0	0	0	0	31	390,791
28	16	631,358	40	74,284	0	0	0	0	0	0	56	705,642
29	16	604,430	31	24,303	0	0	1	510	0	0	48	629,243
30	10	304,159	19	23,298	0	0	0	0	0	0	29	327,457
令和 元	12	997,933	32	54,990	0	0	0	0	0	0	44	1,052,923
2	21	1,466,607	66	398,240	0	0	0	0	0	0	87	1,864,847
計	263	13,877,513	596	2,567,014	1	240,545	1	510	0	0	861	16,685,582

5 一般会計からの繰入状況

一般会計からの繰入状況は、次表のとおりである。

(単位：円)

区 分				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
款	項目	総務省繰出基準による区分	基準内外 の別				対前年度増減額
病院事業収益				1,397,701,000	1,406,404,000	1,407,099,000	695,000
	医業収益			200,619,000	203,755,000	204,486,000	731,000
		その他医業収益		200,619,000	203,755,000	204,486,000	731,000
		救急医療	基準内	142,734,000	143,971,000	137,334,000	△ 6,637,000
		保健衛生行政事務	基準内	57,885,000	59,784,000	67,152,000	7,368,000
		病後児保育事業	基準外	0	0	0	0
	医業外収益			1,197,082,000	1,202,649,000	1,202,613,000	△ 36,000
		負担金及び交付金		1,197,082,000	1,202,649,000	1,202,613,000	△ 36,000
		不採算地区病院の運営	基準内	386,854,000	418,228,000	435,832,000	17,604,000
		感染症病院	基準内	22,855,000	22,771,000	21,748,000	△ 1,023,000
		リハビリテーション医療	基準内	9,456,000	7,943,000	7,590,000	△ 353,000
		高度医療	基準内	239,690,000	245,989,000	220,326,000	△ 25,663,000
		小児医療	基準内	0	8,176,000	8,564,000	388,000
		公立病院附属診療所	基準内	194,707,000	181,375,000	166,139,000	△ 15,236,000
		建設改良に要する経費(支払利息)	基準内	20,124,000	17,688,000	15,185,000	△ 2,503,000
		院内保育所	基準内	11,000,000	10,500,000	11,240,000	740,000
		研究研修	基準内	7,043,000	5,100,000	4,603,000	△ 497,000
		共済追加費用	基準内	10,646,000	9,731,000	8,931,000	△ 800,000
		基礎年金拠出金	基準内	51,146,000	48,721,000	47,903,000	△ 818,000
		医師確保	基準内	180,790,000	153,062,000	154,623,000	1,561,000
		公立病院改革プラン	基準内	109,000	109,000	51,000	△ 58,000
		院内設備改修	基準外	21,162,000	15,650,000	14,978,000	△ 672,000
		経営管理部経費	基準外	41,500,000	32,500,000	39,333,000	6,833,000
		新型コロナウイルス対策経費	基準外	-	25,106,000	45,567,000	20,461,000
資本的収入				139,631,000	166,850,000	153,020,000	△ 13,830,000
	出資金			139,631,000	166,850,000	153,020,000	△ 13,830,000
		一般会計出資金		139,631,000	166,850,000	153,020,000	△ 13,830,000
		建設改良に要する経費	基準内	125,231,000	123,275,000	118,172,000	△ 5,103,000
		医師養成奨学金貸付事業に係る出資	基準外	14,400,000	10,800,000	28,800,000	18,000,000
		新型コロナウイルス対策経費	基準外	-	32,775,000	6,048,000	△ 26,727,000
		基準内計		1,460,270,000	1,456,423,000	1,425,393,000	△ 31,030,000
		基準外計		77,062,000	116,831,000	134,726,000	17,895,000
		合 計		1,537,332,000	1,573,254,000	1,560,119,000	△ 13,135,000

参考付表

決算審査のため資料としてまとめたものである。

他団体との比較は、令和2年度地方公営企業年鑑（総務省）による数値（一部データに基づく試算）とした。

表1 病院事業会計損益計算書年度別比較表（医療局全体）

表2 病院事業会計令和3年度施設別損益計算書

表3 病院事業会計貸借対照表年度別比較表（医療局全体）

表4 病院事業会計令和3年度施設別貸借対照表

表5 病院事業会計年度別業務分析表（医療局全体）

表6 病院事業会計令和3年度施設別業務分析表

表7 病院事業会計年度別比率等分析表（医療局全体）

表8 病院事業会計令和3年度施設別比率等分析表

表1 病院事業会計損益計算書年度別比較表（医療局全体）

（単位：円）

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度増減額	
				増減額	増減率
1 医業収益	3,011,704,760	2,495,976,752	2,541,028,129	45,051,377	1.8%
(1)入院収益	1,387,868,466	1,042,858,473	992,624,899	△ 50,233,574	△ 4.8%
(2)外来収益	1,264,623,071	1,100,296,450	1,080,815,051	△ 19,481,399	△ 1.8%
(3)その他医業収益	357,981,480	349,537,675	464,274,497	114,736,822	32.8%
(4)本部費配賦額	1,231,743	3,284,154	3,313,682	29,528	0.9%
2 医業費用	4,545,215,738	4,215,196,899	4,108,975,930	△ 106,220,969	△ 2.5%
(1)給与費	2,732,878,354	2,477,014,405	2,451,201,656	△ 25,812,749	△ 1.0%
(2)材料費	593,957,043	435,368,236	399,174,616	△ 36,193,620	△ 8.3%
(3)経費	943,362,070	1,044,142,547	1,014,358,959	△ 29,783,588	△ 2.9%
(4)減価償却費	256,076,612	234,719,798	228,454,167	△ 6,265,631	△ 2.7%
(5)資産減耗費	5,641,710	13,366,277	5,849,302	△ 7,516,975	△ 56.2%
(6)研究研修費	12,068,206	7,301,482	6,623,548	△ 677,934	△ 9.3%
(7)本部費配賦額	1,231,743	3,284,154	3,313,682	29,528	0.9%
医業利益(△は医業損失)	△ 1,533,510,978	△ 1,719,220,147	△ 1,567,947,801	151,272,346	8.8%
3 医業外収益	1,295,303,850	1,479,015,023	2,407,190,196	928,175,173	62.8%
(1)受取利息及び配当金	1,520,000	638,246	111,693	△ 526,553	△ 82.5%
(2)補助金	47,976,000	235,402,000	1,161,242,170	925,840,170	393.3%
(3)負担金交付金	1,197,082,000	1,202,649,000	1,202,613,000	△ 36,000	△ 0.0%
(4)患者外給食収益	345,500	337,294	318,390	△ 18,904	△ 5.6%
(5)長期前受金戻入	24,970,062	17,082,414	20,833,646	3,751,232	22.0%
(6)その他医業外収益	23,410,288	22,906,069	22,071,297	△ 834,772	△ 3.6%
4 医業外費用	166,041,276	164,002,918	147,314,653	△ 16,688,265	△ 10.2%
(1)支払利息及び企業債取扱諸費	30,280,866	26,621,905	22,861,116	△ 3,760,789	△ 14.1%
(2)患者外給食材料費	0	490	1,890	1,400	285.7%
(3)雑損失	135,760,410	137,380,523	124,451,647	△ 12,928,876	△ 9.4%
5 訪問看護事業収益	60,663,670	66,335,136	65,560,830	△ 774,306	△ 1.2%
(1)外来収益	60,663,670	66,335,136	65,560,830	△ 774,306	△ 1.2%
6 訪問看護事業費用	90,146,731	88,266,588	77,041,487	△ 11,225,101	△ 12.7%
(1)給与費	85,605,845	83,941,411	72,583,292	△ 11,358,119	△ 13.5%
(2)材料費	2,280	28,580	0	△ 28,580	皆減
(3)経費	4,427,660	4,199,184	4,414,375	215,191	5.1%
(4)減価償却費	0	0	0	0	-
(5)研究研修費	110,946	97,413	43,820	△ 53,593	△ 55.0%
7 訪問看護事業外収益	40,249	724,523	13,131	△ 711,392	△ 98.2%
(1)補助金	0	700,000	0	△ 700,000	皆減
(2)その他医業外収益	40,249	24,523	13,131	△ 11,392	△ 46.5%
8 訪問看護事業外費用	0	0	0	0	-
経常利益(△は経常損失)	△ 433,691,216	△ 425,414,971	680,460,216	1,105,875,187	260.0%
9 特別利益	1,117,140	1,431,650	190,961	△ 1,240,689	△ 86.7%
(1)固定資産売却益	0	0	0	0	-
(2)過年度損益修正益	398,848	1,431,650	190,961	△ 1,240,689	△ 86.7%
(3)その他特別利益	718,292	0	0	0	-
10 特別損失	3,970,130	3,775,675	12,480,763	8,705,088	230.6%
(1)固定資産売却損	0	0	0	0	-
(2)過年度損益修正損	1,333,681	2,425,529	11,711,563	9,286,034	382.8%
(3)その他特別損失	2,636,449	1,350,146	769,200	△ 580,946	△ 43.0%
当年度純利益(△は純損失)	△ 436,544,206	△ 427,758,996	668,170,414	1,095,929,410	256.2%
前年度繰越利益剰余金(△は欠損金)	△ 1,934,477,953	△ 2,371,022,159	△ 2,798,781,155	△ 427,758,996	△ 18.0%
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金(△は未処理欠損金)	△ 2,371,022,159	△ 2,798,781,155	△ 2,130,610,741	668,170,414	23.9%

表2 病院事業会計令和3年度施設別損益計算書

(単位:円)

科目	総合水沢病院	まごころ病院	前沢診療所	衣川診療所	衣川歯科診療所	経営管理部
1 医業収益	1,516,036,511	738,100,486	72,616,950	157,720,935	53,239,565	3,313,682
(1)入院収益	620,789,737	342,613,330	0	29,221,832	0	0
(2)外来収益	568,146,132	320,219,324	53,906,559	97,329,506	41,213,530	0
(3)その他医業収益	327,100,642	75,267,832	18,710,391	31,169,597	12,026,035	0
(4)本部費配賦額	0	0	0	0	0	3,313,682
2 医業費用	2,454,823,290	1,020,649,227	183,266,131	305,772,827	85,731,523	58,732,932
(1)給与費	1,414,714,784	658,186,960	84,493,107	189,153,262	63,968,028	40,685,515
(2)材料費	260,759,571	86,858,342	7,237,222	37,673,959	6,645,522	0
(3)経費	663,981,087	212,301,659	55,228,629	56,263,308	8,540,950	18,043,326
(4)減価償却費	106,889,612	61,076,276	31,903,030	22,121,410	6,463,839	0
(5)資産減耗費	1,283,700	131,368	4,174,750	259,484	0	0
(6)研究研修費	5,087,410	1,216,096	158,970	104,181	52,800	4,091
(7)本部費配賦額	2,107,126	878,526	70,423	197,223	60,384	0
医業利益(△は医業損失)	△ 938,786,779	△ 282,548,741	△ 110,649,181	△ 148,051,892	△ 32,491,958	△ 55,419,250
3 医業外収益	1,798,098,397	248,255,380	128,924,717	144,230,215	30,436,572	57,244,915
(1)受取利息及び配当金	111,693	0	0	0	0	0
(2)補助金	1,120,477,170	3,221,000	380,000	29,203,000	7,961,000	0
(3)負担金交付金	646,340,000	239,710,000	127,604,000	111,814,000	20,372,000	56,773,000
(4)患者外給食収益	0	1,890	0	316,500	0	0
(5)長期前受金戻入	12,773,018	3,709,747	799,356	2,513,933	1,037,592	0
(6)その他医業外収益	18,396,516	1,612,743	141,361	382,782	1,065,980	471,915
4 医業外費用	79,428,721	38,426,509	14,256,679	11,109,338	2,264,591	1,828,815
(1)支払利息及び企業債取扱諸費	1,408,241	9,694,645	8,194,396	2,862,086	701,748	0
(2)患者外給食材料費	0	1,890	0	0	0	0
(3)雑損失	78,020,480	28,729,974	6,062,283	8,247,252	1,562,843	1,828,815
5 訪問看護事業収益	57,495,969	8,064,861	0	0	0	0
(1)外来収益	57,495,969	8,064,861	0	0	0	0
6 訪問看護事業費用	62,871,868	14,169,619	0	0	0	0
(1)給与費	59,012,608	13,570,684	0	0	0	0
(2)材料費	0	0	0	0	0	0
(3)経費	3,815,440	598,935	0	0	0	0
(4)減価償却費	0	0	0	0	0	0
(5)研究研修費	43,820	0	0	0	0	0
7 訪問看護事業外収益	2,600	10,531	0	0	0	0
(1)補助金	0	0	0	0	0	0
(2)その他医業外収益	2,600	10,531	0	0	0	0
8 訪問看護事業外費用	0	0	0	0	0	0
経常利益(△は経常損失)	774,509,598	△ 78,814,097	4,018,857	△ 14,931,015	△ 4,319,977	△ 3,150
9 特別利益	0	52,651	131,542	0	3,618	3,150
(1)固定資産売却益	0	0	0	0	0	0
(2)過年度損益修正益	0	52,651	131,542	0	3,618	3,150
(3)その他特別利益	0	0	0	0	0	0
10 特別損失	1,351,660	10,518,021	300,266	278,633	32,183	0
(1)固定資産売却損	0	0	0	0	0	0
(2)過年度損益修正損	783,549	10,511,651	126,127	272,493	17,743	0
(3)その他特別損失	568,111	6,370	174,139	6,140	14,440	0
当年度純利益(△は純損失)	773,157,938	△ 89,279,467	3,850,133	△ 15,209,648	△ 4,348,542	0
前年度繰越利益剰余金(△は欠損金)	△ 2,255,089,823	△ 569,417,674	26,439,537	△ 17,659,458	16,946,263	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金(△は未処理欠損金)	△ 1,481,931,885	△ 658,697,141	30,289,670	△ 32,869,106	12,597,721	0

表3 病院事業会計貸借対照表年度別比較表（医療局全体）

（単位：円）

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度増減額	
				対前年度増減額	増減率
1 固定資産	3,845,064,252	3,713,627,377	3,553,912,363	△ 159,715,014	△ 4.3%
(1) 有形固定資産	3,829,561,778	3,687,324,903	3,498,809,889	△ 188,515,014	△ 5.1%
イ土地	825,805,793	825,805,793	825,805,793	0	0.0%
ロ建物	2,639,469,902	2,478,910,437	2,323,347,196	△ 155,563,241	△ 6.3%
ハ構築物	112,522,247	108,237,163	103,957,033	△ 4,280,130	△ 4.0%
ニ器械備品	250,279,120	273,100,137	244,505,036	△ 28,595,101	△ 10.5%
ホ車両	1,484,716	1,271,373	1,194,831	△ 76,542	△ 6.0%
(2) 無形固定資産	1,102,474	1,102,474	1,102,474	0	0.0%
イ電話加入権	1,102,474	1,102,474	1,102,474	0	0.0%
(3) 投資	14,400,000	25,200,000	54,000,000	28,800,000	114.3%
イ長期貸付金	14,400,000	25,200,000	54,000,000	28,800,000	114.3%
2 流動資産	2,325,070,253	2,048,279,622	2,888,112,960	839,833,338	41.0%
(1) 現金預金	1,770,493,483	1,487,391,484	2,140,214,230	652,822,746	43.9%
(2) 未収金	534,748,739	540,963,849	723,421,905	182,458,056	33.7%
貸倒引当金	△ 2,300,000	△ 2,300,000	△ 2,300,000	0	0.0%
(3) 貯蔵品	22,128,031	22,224,289	24,776,825	2,552,536	11.5%
(4) その他流動資産	0	0	2,000,000	2,000,000	皆増
資産合計	6,170,134,505	5,761,906,999	6,442,025,323	680,118,324	11.8%
3 固定負債	979,525,110	833,486,825	680,502,570	△ 152,984,255	△ 18.4%
(1) 企業債	979,525,110	833,486,825	680,502,570	△ 152,984,255	△ 18.4%
4 流動負債	546,081,099	537,245,288	567,479,099	30,233,811	5.6%
(1) 企業債	148,177,456	151,338,285	154,584,255	3,245,970	2.1%
(2) 未払金	227,742,643	215,210,003	251,190,844	35,980,841	16.7%
(3) 引当金	170,161,000	170,697,000	159,704,000	△ 10,993,000	△ 6.4%
(4) その他流動負債	0	0	2,000,000	2,000,000	皆増
5 繰延収益	161,209,011	168,764,597	150,442,951	△ 18,321,646	△ 10.9%
(1) 長期前受金	601,127,703	625,765,703	628,277,703	2,512,000	0.4%
(2) 収益化累計額	△ 439,918,692	△ 457,001,106	△ 477,834,752	△ 20,833,646	△ 4.6%
負債合計	1,686,815,220	1,539,496,710	1,398,424,620	△ 141,072,090	△ 9.2%
6 資本金	6,524,163,169	6,691,013,169	6,844,033,169	153,020,000	2.3%
7 剰余金	△ 2,040,843,884	△ 2,468,602,880	△ 1,800,432,466	668,170,414	27.1%
(1) 資本剰余金	202,500,445	202,500,445	202,500,445	0	0.0%
イ受贈財産評価額	49,396,445	49,396,445	49,396,445	0	0.0%
ロ補助金	152,794,000	152,794,000	152,794,000	0	0.0%
ハ寄附金	310,000	310,000	310,000	0	0.0%
(2) 利益剰余金	△ 2,243,344,329	△ 2,671,103,325	△ 2,002,932,911	668,170,414	25.0%
イ減債積立金	52,420,000	52,420,000	52,420,000	0	0.0%
ロ建設改良積立金	75,257,830	75,257,830	75,257,830	0	0.0%
ハ当年度未処理欠損金	2,371,022,159	2,798,781,155	2,130,610,741	△ 668,170,414	△ 23.9%
資本合計	4,483,319,285	4,222,410,289	5,043,600,703	821,190,414	19.4%
負債資本合計	6,170,134,505	5,761,906,999	6,442,025,323	680,118,324	11.8%

表4 病院事業会計令和3年度施設別貸借対照表

(単位:円)

科目	総合水沢病院	まごころ病院	前沢診療所	衣川診療所	衣川歯科診療所	経営管理部
1 固定資産	1,668,653,297	878,373,400	573,849,383	299,099,732	79,936,551	54,000,000
(1)有形固定資産	1,667,993,197	877,931,026	573,849,383	299,099,732	79,936,551	0
イ土地	722,522,649	89,127,673	0	4,490,909	9,664,562	0
ロ建物	737,470,719	720,200,087	545,403,650	266,443,536	53,829,204	0
ハ構築物	97,540,511	2,837,400	0	3,344,735	234,387	0
ニ器械備品	110,298,539	65,378,587	28,395,733	24,311,472	16,120,705	0
ホ車両	160,779	387,279	50,000	509,080	87,693	0
(2)無形固定資産	660,100	442,374	0	0	0	0
イ電話加入権	660,100	442,374	0	0	0	0
(3)投資	0	0	0	0	0	54,000,000
イ長期貸付金	0	0	0	0	0	54,000,000
2 流動資産	2,548,004,968	74,237,497	136,934,716	85,999,113	36,736,888	6,199,778
(1)現金預金	1,994,700,421	△ 41,816,059	126,585,867	36,929,311	23,050,237	764,453
(2)未収金	534,841,596	114,574,037	9,198,176	47,776,070	13,596,701	3,435,325
貸倒引当金	△ 2,000,000	△ 300,000	0	0	0	0
(3)貯蔵品	20,462,951	1,779,519	1,150,673	1,293,732	89,950	0
(4)その他流動資産	0	0	0	0	0	2,000,000
資産合計	4,216,658,265	952,610,897	710,784,099	385,098,845	116,673,439	60,199,778
3 固定負債	16,805,778	202,264,205	293,680,927	130,309,725	37,441,935	0
(1)企業債	16,805,778	202,264,205	293,680,927	130,309,725	37,441,935	0
4 流動負債	269,337,047	153,095,964	77,310,378	47,569,670	13,966,262	6,199,778
(1)企業債	7,840,950	63,215,114	56,522,506	20,087,257	6,918,428	0
(2)未払金	168,122,097	47,264,850	15,771,872	15,389,413	3,006,834	1,635,778
(3)引当金	93,374,000	42,616,000	5,016,000	12,093,000	4,041,000	2,564,000
(4)その他流動負債	0	0	0	0	0	2,000,000
5 繰延収益	83,747,927	19,716,607	34,583,124	8,694,838	3,700,455	0
(1)長期前受金	291,028,000	241,778,000	40,444,430	45,391,232	9,636,041	0
(2)収益化累計額	△ 207,280,073	△ 222,061,393	△ 5,861,306	△ 36,696,394	△ 5,935,586	0
負債合計	369,890,752	375,076,776	405,574,429	186,574,233	55,108,652	6,199,778
6 資本金	5,030,492,968	1,204,469,417	274,710,000	231,393,718	48,967,066	54,000,000
7 剰余金	△ 1,183,725,455	△ 626,935,296	30,499,670	△ 32,869,106	12,597,721	0
(1)資本剰余金	181,038,600	21,251,845	210,000	0	0	0
イ受贈財産評価額	49,268,600	127,845	0	0	0	0
ロ補助金	131,670,000	21,124,000	0	0	0	0
ハ寄附金	100,000	0	210,000	0	0	0
(2)利益剰余金	△ 1,364,764,055	△ 648,187,141	30,289,670	△ 32,869,106	12,597,721	0
イ減債積立金	41,910,000	10,510,000	0	0	0	0
ロ建設改良積立金	75,257,830	0	0	0	0	0
ハ当年度未処理欠損金	1,481,931,885	658,697,141	△ 30,289,670	32,869,106	△ 12,597,721	0
資本合計	3,846,767,513	577,534,121	305,209,670	198,524,612	61,564,787	54,000,000
負債資本合計	4,216,658,265	952,610,897	710,784,099	385,098,845	116,673,439	60,199,778

表5 病院事業会計年度別業務分析表（医療局全体）

区分	分析方法	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	【参考】 全国黒字病院 (200床以上 300床未満)
病床利用率(退院含む。)	年延入院患者数 ／年延病床数×100	%	52.1	40.5	39.1	65.6
一日平均患者数	年延入院患者数 ／入院診察日数	人	112.5	87.5	84.4	160.0
	年延外来患者数 ／外来診察日数	人	591.7	499.3	504.7	342.0
職員一人一日当たり 患者数	年延入院・外来患者数 ／年延職員数	人	1.6	1.3	1.3	-
医師一人一日当たり 入院患者数	年延入院患者数 ／年延医師数	人	4.3	3.5	3.3	4.8
看護師一人一日当たり 入院患者数	年延入院患者数 ／年延看護師数	人	0.8	0.6	0.5	0.9
医師一人一日当たり 外来患者数	年延外来患者数 ／年延医師数	人	14.7	13.3	13.1	7.0
看護師一人一日当たり 外来患者数	年延外来患者数 ／年延看護師数	人	2.6	2.1	2.2	1.3
患者一人一日当たり 診療収入	入院・外来収益 ／年延入院・外来患者 数	円	14,811	14,509	14,032	24,847
患者一人一日当たり 入院収入	入院収益 ／年延入院患者数	円	33,711	32,651	32,229	42,840
患者一人一日当たり 外来収入	外来収益 ／年延外来患者数	円	9,332	9,694	9,425	12,646
医業収益に対する 医薬材料費の割合 (訪問看護事業含む。)	医薬材料費 ／医業収益×100	%	18.5	16.7	15.0	16.7
病床100床当たり 職員数	年度末全職員数 ／年度末病床数×100	人	134.3	140.4	142.6	143.7
病床100床当たり 医師職員数	年度末医師職員数 ／年度末病床数×100	人	11.1	10.6	11.1	19.7
病床100床当たり 看護師職員数	年度末看護師職員数 ／年度末病床数×100	人	63.0	66.0	65.1	77.3

注：全国黒字病院（200床以上300床未満）は、令和2年度地方公営企業年鑑（総務省）による。

表6 病院事業会計令和3年度施設別業務分析表

区分	分析方法	単位	総合水沢病院	まごころ病院	前沢診療所	衣川診療所	衣川歯科診療所
病床利用率(退院含む。)	年延入院患者数 ／年延病床数×100	%	32.1	66.6	-	24.3	-
一日平均患者数	年延入院患者数 ／入院診察日数	人	47.8	32.0	-	4.6	-
	年延外来患者数 ／外来診察日数	人	242.7	178.7	30.4	39.0	20.7
職員一人一日当たり患者数	年延入院・外来患者数 ／年延職員数	人	1.1	1.6	1.7	1.4	1.5
医師一人一日当たり入院患者数	年延入院患者数 ／年延医師数	人	3.7	4.0	-	1.9	-
看護師一人一日当たり入院患者数	年延入院患者数 ／年延看護師数	人	0.5	0.8	-	0.4	-
医師一人一日当たり外来患者数	年延外来患者数 ／年延医師数	人	12.3	14.2	20.0	10.4	13.7
看護師一人一日当たり外来患者数	年延外来患者数 ／年延看護師数	人	1.6	2.9	4.0	2.4	-
患者一人一日当たり診療収入	入院・外来収益 ／年延入院・外来患者数	円	16,410	12,631	7,380	11,426	8,269
患者一人一日当たり入院収入	入院収益 ／年延入院患者数	円	35,567	29,379	-	17,363	-
患者一人一日当たり外来収入	外来収益 ／年延外来患者数	円	10,695	7,920	7,380	10,362	8,269
医業収益に対する医薬材料費の割合(訪問看護事業含む。)	医薬材料費 ／医業収益×100	%	16.5	10.7	10.0	23.9	12.5
病床100床当たり職員数	年度末全職員数 ／年度末病床数×100	人	132.2	187.5	-	115.8	-
病床100床当たり医師職員数	年度末医師職員数 ／年度末病床数×100	人	8.7	16.7	-	15.8	-
病床100床当たり看護師職員数	年度末看護師職員数 ／年度末病床数×100	人	65.8	81.3	-	57.9	-

表7 病院事業会計年度別比率等分析表（医療局全体）

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国市黒字 団体平均
構成比率	固定資産構成比率	62.3	64.5	55.2	69.2
	固定負債構成比率	15.9	14.5	10.6	51.2
	(%) 自己資本構成比率	75.3	76.2	80.6	34.1
財務比率	固定比率	82.8	84.6	68.4	202.8
	固定長期適合率(固定資産対長期資本比率)	68.4	71.1	60.5	81.1
	流動比率	425.8	381.3	508.9	209.9
	酸性試験比率(当座比率)	421.7	377.1	504.2	206.8
	現金預金比率	324.2	276.9	377.1	117.0
	(%) 負債比率	32.8	31.2	24.0	193.1
回転率	自己資本回転率（回）	0.64	0.57	0.54	1.82
	固定資産回転率（回）	0.78	0.68	0.72	0.77
	流動資産回転率（回）	1.24	1.17	1.06	2.16
	未収金回転率（回）	5.80	4.76	4.12	4.91
	減価償却率（%）	7.86	7.58	7.87	7.96
収益率	総収支比率(総収益対総費用)	90.9	90.4	115.4	105.7
	経常収支比率(経常収益対経常費用)	91.0	90.5	115.7	105.9
	修正医業収支比率	62.0	54.8	57.4	85.2
	(%) 総資本利益率	△ 6.8	△ 7.1	11.2	4.0
その他	企業債元金償還金対減価償却比率	62.3	68.1	72.9	254.7
	企業債元金償還金対医業収益比率	4.7	5.8	5.8	13.8
	企業債利息対医業収益比率	1.0	1.0	0.9	1.1
	企業債元利償還金対医業収益比率	5.7	6.8	6.7	14.9
	(%) 職員給与費対医業収益比率	91.7	99.9	96.8	59.0

注1：全国市黒字団体平均は、令和2年度地方公営企業年鑑（総務省）による。

注2：医業収益及び医業費用には、訪問看護事業を含む。

算式	分析に係る説明
固定資産／(固定資産＋流動資産＋繰延資産)×100	総資産の中に占める固定資産の割合であり、低率なほど良いとされている。
固定負債／負債資本合計×100	総資本の中に占める長期負債の割合であり、低率なほど良いとされている。
(資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益)／負債資本合計×100	総資本の中に占める自己資本の割合であり、比率が大きいほど経営の安全性が大きいといえる。
固定資産／(資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益)×100	固定資産が自己資本でどの程度まかなわれているのかを示すもので、比率は100%以下が望ましいとされている。
固定資産／(資本金＋剰余金＋評価差額等＋固定負債＋繰延収益)×100	固定資産調達のための安定資金の確保を見るもので、固定資産の調達が自己資本と固定負債を加えた長期資本の範囲で行われるべきとの立場から、100%以下であることが望ましいとされている。
流動資産／流動負債×100	支払能力(運転資金の流動性の確保)を見るもので、一般的に200%以上が望ましいとされている。
(現金預金＋(未収金－貸倒引当金))／流動負債×100	当座の支払能力を示すもので、100%以上が望ましいとされている。
現金預金／流動負債×100	流動負債に対する現金預金の割合であり、20%以上が望ましいとされている。
(固定負債＋流動負債)／(資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益)×100	負債を自己資本より超過させないことが、健全経営の第一義であるので、100%以下が健全とされている。
(医業収益－受託工事収益)／平均自己資本((期首・期末の資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益)／2)	自己資本に対する医業収益の割合であり、この比率が高いほど投下資本に対して営業活動が活発であることを意味する。
(医業収益－受託工事収益)／平均固定資産((期首・期末の固定資産－建設仮勘定)／2)	固定資産に対する医業収益の割合であり、低い場合は一般的に過大投資になっていると考えられる。
(医業収益－受託工事収益)／平均流動資産(期首・期末の流動資産／2)	流動資産の経営活動における回転度を表すもので、この率が過大であるときは流動資産の平均保有高が過小であり、過小であるときは流動資産の平均保有高が過大であることを表している。
(医業収益－受託工事収益)／平均未収金(期首・期末の未収金／2)	未収金に対する医業収益の割合を表し、一般的にこの率が高いほど未収期間が短く、早く回収されることを表す。年度ごとの推移を見ることにより、収益の回収が好転しているか否かについての判断材料となる。
当年度減価償却費／(期末償却資産＋当年度減価償却費)×100	減価償却費を固定資産帳簿価額と比較することにより、いかなる減価償却政策をとっているかを明らかにするもので、固定資産に投下された資本の回収状況を見るためのものである。
総収益／総費用×100	収益と費用の総体的な関連を示すもの。
経常収益／経常費用×100	経常的な収益と費用の関連を示すもの。
(医業収益－他会計負担金)／医業費用×100	医業収益とそれに要した医業費用とを対比し業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断される。
当年度経常損益／(期首・期末の総資本／2)×100	事業の経常的な収益力を総合的に表すもので、この比率が高いほど総合的な収益性が高いことを表している。
建設改良のための企業債元金償還金／(当年度減価償却費－長期前受金戻入)×100	当年度減価償却費に対する建設改良のための企業債元金償還金の割合を示したもので、低率なほど起債償還財源の内部留保資金が確保されている。
建設改良のための企業債元金償還金／医業収益×100	医業収益に対する建設改良のための企業債元金償還金の割合を示すもので、低率なほど良い。
企業債利息／医業収益×100	医業収益に対する企業債利息の割合を示すもので、低率なほど良い。
建設改良のための企業債元利償還金／医業収益×100	医業収益に対する建設改良のための企業債元利償還金の割合を示すもので、低率なほど良い。
職員給与費／医業収益×100	医業収益に対する職員給与費の割合を示すもので、低率なほど良い。

表8 病院事業会計令和3年度施設別比率等分析表

項目		総合水沢病院	まごころ病院	前沢診療所	衣川診療所	衣川歯科診療所
構成比率 (%)	固定資産構成比率	39.6	92.2	80.7	77.7	68.5
	固定負債構成比率	0.4	21.2	41.3	33.8	32.1
	自己資本構成比率	93.2	62.7	47.8	53.8	55.9
財務比率 (%)	固定比率	42.5	147.1	168.9	144.3	122.5
	固定長期適合率(固定資産対長期資本比率)	42.3	109.9	90.6	88.6	77.8
	流動比率	946.0	48.5	177.1	180.8	263.0
	酸性試験比率(当座比率)	938.4	47.3	175.6	178.1	262.4
	現金預金比率	740.6	△ 27.3	163.7	77.6	165.0
	負債比率	7.3	59.5	109.2	85.8	78.8
回転率	自己資本回転率 (回)	0.44	1.20	0.23	0.76	0.82
	固定資産回転率 (回)	0.92	0.83	0.12	0.51	0.65
	流動資産回転率 (回)	0.75	7.16	0.57	1.78	1.40
	未収金回転率 (回)	3.55	6.55	7.95	3.26	3.85
	減価償却率 (%)	10.16	7.19	5.27	6.98	8.42
収益率 (%)	総収支比率(総収益対総費用)	129.8	91.8	101.9	95.2	95.1
	経常収支比率(経常収益対経常費用)	129.8	92.7	102.0	95.3	95.1
	修正医業収支比率	57.1	68.7	33.4	47.8	49.5
	総資本利益率	20.3	△ 7.8	0.6	△ 3.8	△ 3.6
その他 (%)	企業債元金償還金対減価償却比率	8.0	106.8	178.0	106.5	116.5
	企業債元金償還金対医業収益比率	0.5	8.2	76.2	13.2	11.9
	企業債利息対医業収益比率	0.1	1.3	11.3	1.8	1.3
	企業債元利償還金対医業収益比率	0.6	9.5	87.5	15.1	13.2
	職員給与対医業収益比率	93.7	90.0	116.4	119.9	120.2

注：医業収益及び医業費用には、訪問看護事業を含む。

算式	分析に係る説明
$\text{固定資産} / (\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}) \times 100$	総資産の中に占める固定資産の割合であり、低率なほど良いとされている。
$\text{固定負債} / \text{負債資本合計} \times 100$	総資本の中に占める長期負債の割合であり、低率なほど良いとされている。
$(\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}) / \text{負債資本合計} \times 100$	総資本の中に占める自己資本の割合であり、比率が大きいほど経営の安全性が大きいといえる。
$\text{固定資産} / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}) \times 100$	固定資産が自己資本でどの程度まかなわれているのかを示すもので、比率は100%以下が望ましいとされている。
$\text{固定資産} / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}) \times 100$	固定資産調達のための安定資金の確保を見るもので、固定資産の調達が自己資本と固定負債を加えた長期資本の範囲で行われるべきとの立場から、100%以下であることが望ましいとされている。
$\text{流動資産} / \text{流動負債} \times 100$	支払能力(運転資金の流動性の確保)を見るもので、一般的に200%以上が望ましいとされている。
$(\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})) / \text{流動負債} \times 100$	当座の支払能力を示すもので、100%以上が望ましいとされている。
$\text{現金預金} / \text{流動負債} \times 100$	流動負債に対する現金預金の割合であり、20%以上が望ましいとされている。
$(\text{固定負債} + \text{流動負債}) / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}) \times 100$	負債を自己資本より超過させないことが、健全経営の第一義であるので、100%以下が健全とされている。
$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / \text{平均自己資本} ((\text{期首} \cdot \text{期末の資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}) / 2)$	自己資本に対する営業収益の割合であり、この比率が高いほど投下資本に対して営業活動が活発であることを意味する。
$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / \text{平均固定資産} ((\text{期首} \cdot \text{期末の固定資産} - \text{建設仮勘定}) / 2)$	固定資産に対する営業収益の割合であり、低い場合は一般的に過大投資になっていると考えられる。
$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / \text{平均流動資産} (\text{期首} \cdot \text{期末の流動資産} / 2)$	流動資産の経営活動における回転度を表すもので、この率が過大であるときは流動資産の平均保有高が過小であり、過小であるときは流動資産の平均保有高が過大であることを表している。
$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / \text{平均未収金} (\text{期首} \cdot \text{期末の未収金} / 2)$	未収金に対する営業収益の割合を表し、一般的にこの率が高いほど未収期間が短く、早く回収されることを表す。年度ごとの推移を見ることにより、収益の回収が好転しているか否かについての判断材料となる。
$\text{当年度減価償却費} / (\text{期末償却資産} + \text{当年度減価償却費}) \times 100$	減価償却費を固定資産帳簿価額と比較することにより、いかなる減価償却政策をとっているかを明らかにするもので、固定資産に投下された資本の回収状況を見るためのものである。
$\text{総収益} / \text{総費用} \times 100$	収益と費用の総体的な関連を示すもの。
$\text{経常収益} / \text{経常費用} \times 100$	経常的な収益と費用の関連を示すもの。
$(\text{営業収益} - \text{他会計負担金}) / \text{営業費用} \times 100$	営業収益とそれに要した営業費用とを対比し業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断される。
$\text{当年度経常損益} / (\text{期首} \cdot \text{期末の総資本} / 2) \times 100$	事業の経常的な収益力を総合的に表すもので、この比率が高いほど総合的な収益性が高いことを表している。
$\text{建設改良のための企業債元金償還金} / (\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}) \times 100$	当年度減価償却費に対する建設改良のための企業債元金償還金の割合を示したもので、低率なほど起債償還財源の内部留保資金が確保されている。
$\text{建設改良のための企業債元金償還金} / \text{営業収益} \times 100$	営業収益に対する建設改良のための企業債元金償還金の割合を示すもので、低率なほど良い。
$\text{企業債利息} / \text{営業収益} \times 100$	営業収益に対する企業債利息の割合を示すもので、低率なほど良い。
$\text{建設改良のための企業債元利償還金} / \text{営業収益} \times 100$	営業収益に対する建設改良のための企業債元利償還金の割合を示すもので、低率なほど良い。
$\text{職員給与費} / \text{営業収益} \times 100$	営業収益に対する職員給与費の割合を示すもので、低率なほど良い。